

2011 年 6 月 21 日

有明海奥部における貧酸素水塊の発生状況

(独) 水産総合研究センター西海区水産研究所
有明海・八代海漁場環境研究センター

水産庁委託「貧酸素水塊漁業被害防止対策」および環境省請負調査「有明海生態系回復方策検討調査（二枚貝類の環境浄化機能検討調査）」により、平成 22 年度は有明海奥部において、10 地点の観測を実施しています。このうち、観測点 1、2、13、14、P 6 の 5 地点においてテレメトリー観測を実施していますので、定期的に観測情報を整理して提供します。

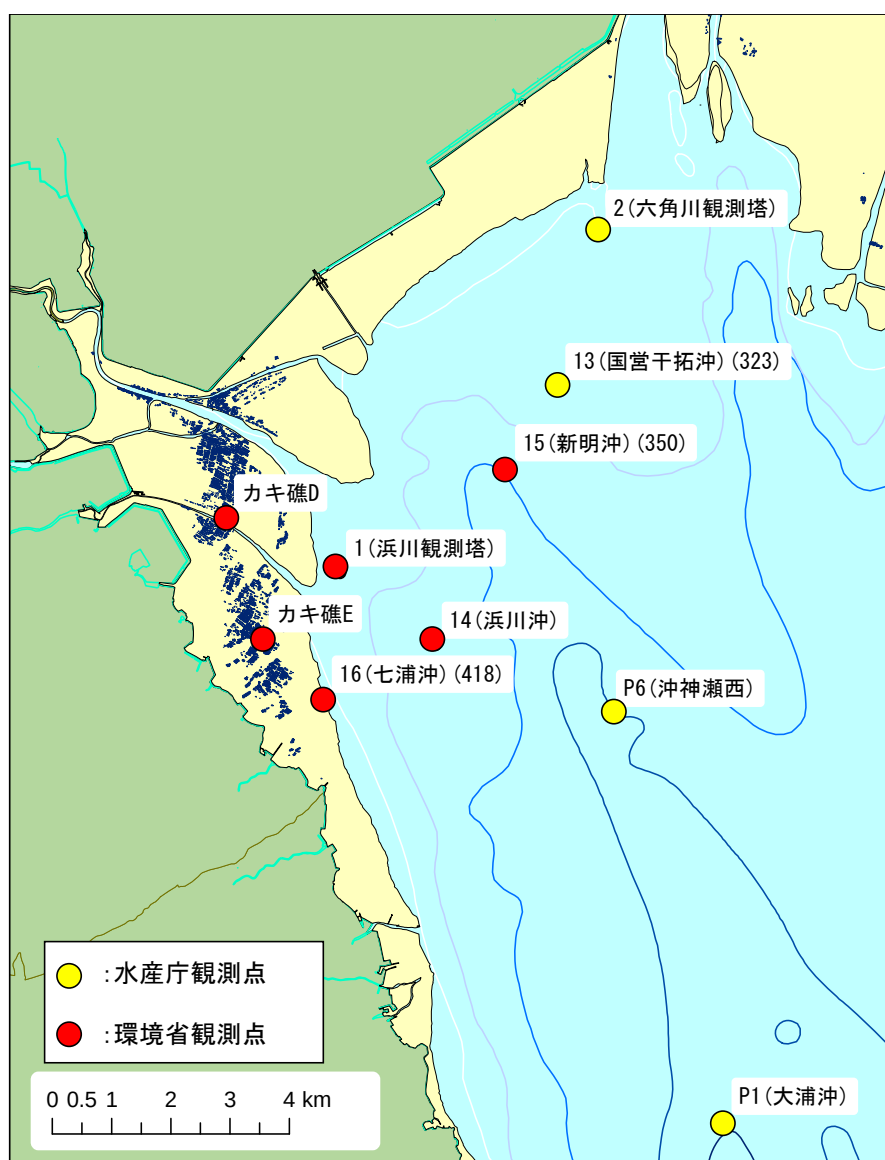


図 1. 有明海奥部における「貧酸素水塊広域連続観測」の観測地点（平成 23 年度）

有明海湾奥部底層の溶存酸素の変動（6月上旬から6月中旬）と今後の見通し

6月中旬よりの降雨に伴う出水により有明海奥部では塩分が低下し、密度躍層が発達しています（図2，図5，図6）。

湾奥の観測点1（浜川観測塔）の底層で6月中旬に溶存酸素が20%程度に一時的に低下しましたが、その後の大潮期（6月15～18日）以降には溶存酸素が回復しています（図2）。

沖合域の観測点P6（沖神瀬西）では6月上旬より底層の溶存酸素が徐々に低下しています（図3）。

有明海湾奥西部海域の広域調査結果によると、鹿島市七浦地先で溶存酸素飽和度が40%程度に低下し、50%以下の海域が広がっています（図4）

今後、小潮期（6月22～26日）に向かって、溶存酸素が低下することが予測されます。

なお、本情報に使用している観測データは全て未補正值です。

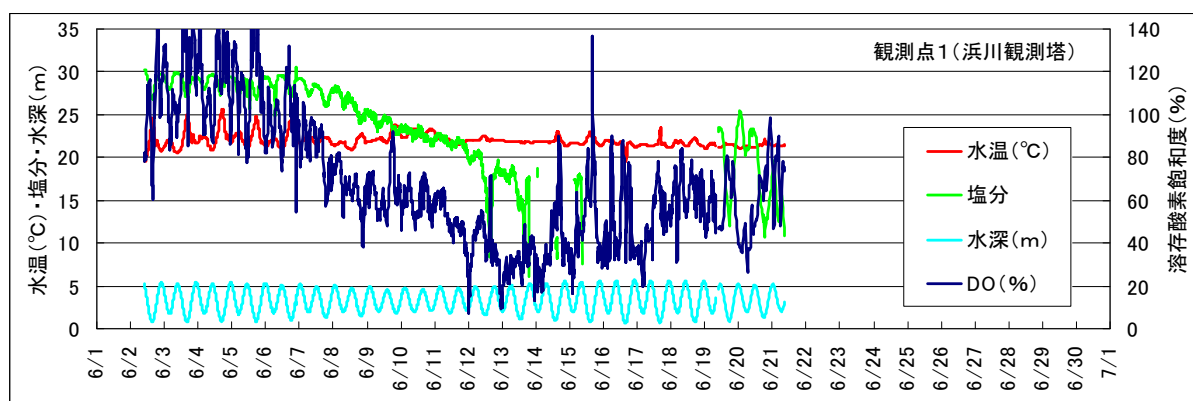


図2．有明海奥部底層の溶存酸素等の変動（観測点1：浜川観測塔）

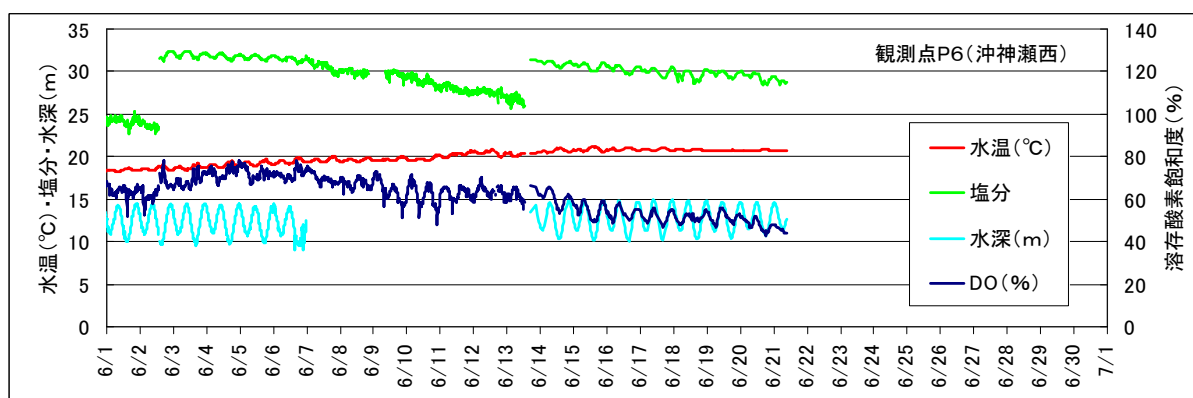


図3．有明海奥部底層の溶存酸素等の変動（観測点P6：沖神瀬西）

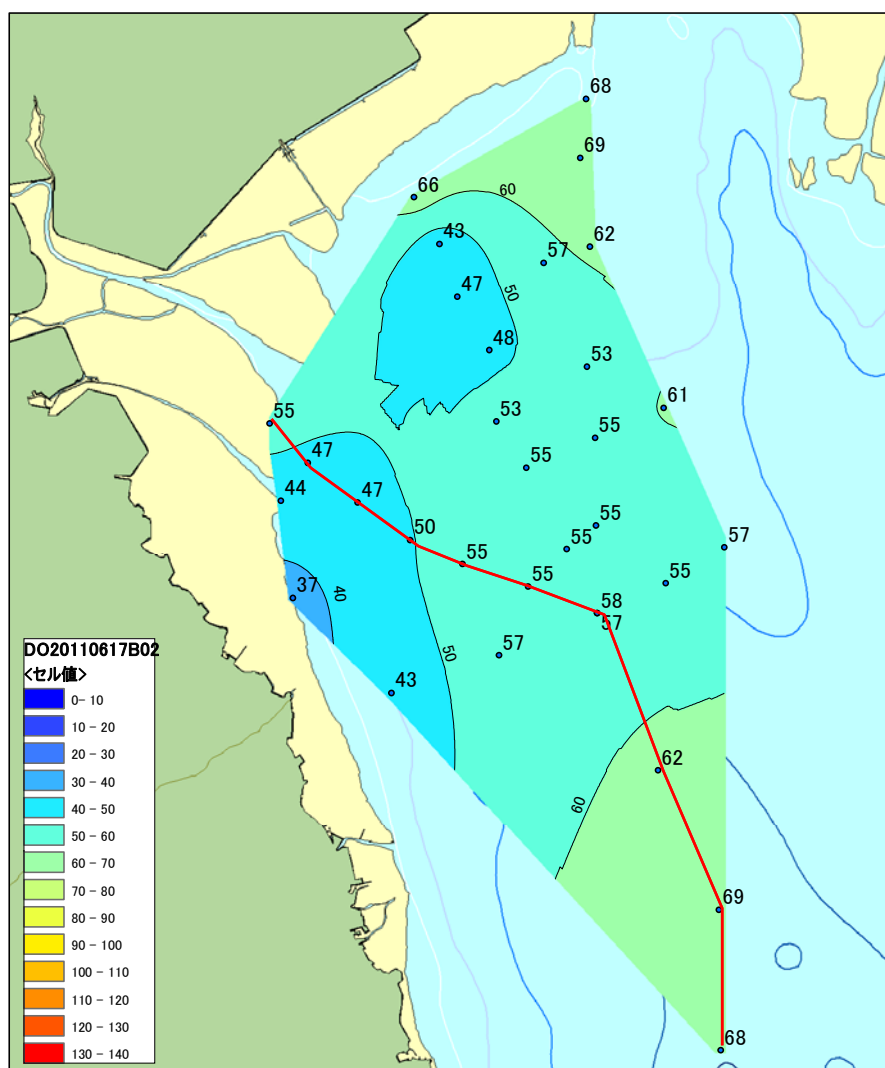


図4. 有明海湾奥部底層の溶存酸素飽和度の分布(%) (2011年6月17日)

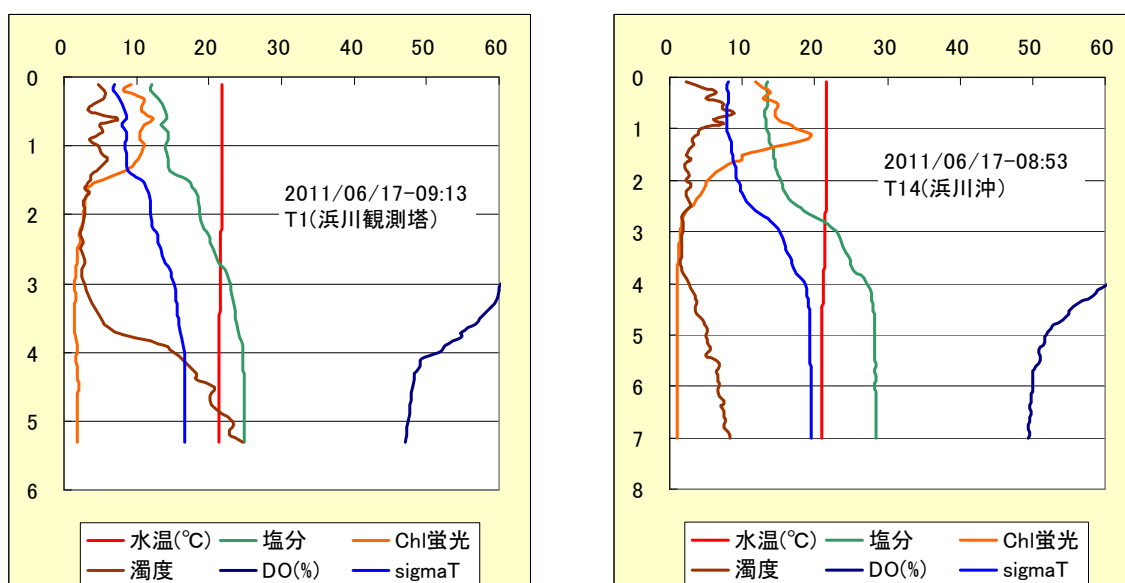


図5. 水質の鉛直分布 (2011年6月17日)
 (左: 観測点1 (浜川観測塔)、右: 観測点14 (浜川沖))

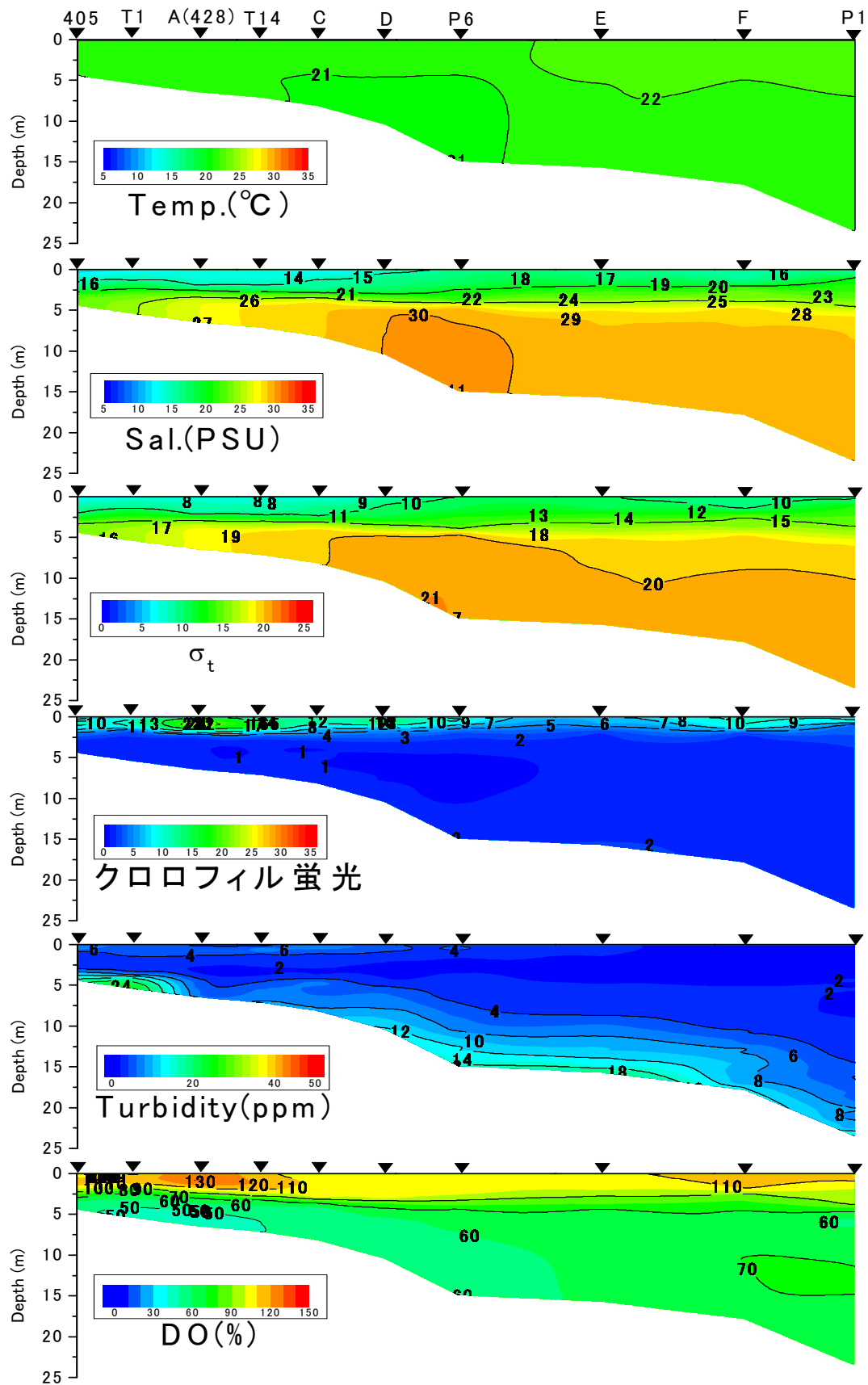


図 6. 有明海灣奥部西部海域（図 2 の断面）の水質の鉛直分布（2011 年 6 月 17 日）